

特集3 身体をモニタリング する機器の導入

ワンポイント・アドバイス

- 複数人で作業をし、互いに声を掛け合って休憩したり、安全を確認することが望ましいですが、1人作業となる場合なども想定されます。
- そのような時は、次のアイテムを導入し安全管理をサポートしましょう。

応急措置用品・ 冷却グッズの携行

応急措置 用品

Point

いざという時のために、**経口補水液や冷却グッズ**を一式そろえて、現場に持ち出しましょう

経口補水パウダーと水を別々に用意するのもアリです

きれいな水は、ケガの手当にも活用できます



▶ 各社から、熱中症対策関連のグッズを揃えた救急セットも販売されています

冷却グッズ

Point

冷感タオルやハンディファンは、常に携行しても邪魔になるほどの荷物にはなりません

真夏に限らず、梅雨時期や初夏でも熱中症は起きえます

“念には念を”で用意しましょう



▲ 冷感タオル



▲ ハンディファン



▲ ポータブルファン

こんな悩みありませんか

- ☑ 1人で作業していると、ついつい休憩忘れるんだよね
- ☑ 前に脱水症状になりかけたことあったなあ・・・
- ☑ 事務所から、従業員の安全を見守りたい！

ウェアラブル 端末

Point 1

暑いときは、**休憩をしっかりと**、**水分補給**するのが対策の基本

ウェアラブル端末が**深部体温や体内の水分バランス**を計測し、休憩や水分補給のタイミングをお知らせしてくれます



Point 2

現場作業者が装着したウェアラブル端末と事務所を通信機でつなぐ**IoTサービス**もあります

遠隔地から作業員を見守る、**不測の事態に備える**新たな安全対策です

